「緊急企画！俳句で国際交流」

（台湾）中国文化大学社会人生涯学習センター、淡江大学
兼任講師　虞　安寿美

嶋田先生の Facebook で、毎年恒例のイーストウエスト日本語学校の俳句大会のことを知りました。11 月末、日本語学習者のみなさんにも投票してもらおうと思い立ち、社会人学習者のクラスと、大学三年生の作文クラスで「緊急企画！俳句で国際交流」と題して投票会を行いました。

まず、社会人クラス。主に主婦が多いクラスで、日本語が大好きで私と一緒に 7 年も勉強を続けています。話すことは苦手ですが、日本語の文章を読んだり日本語を聞いたりするのはかなりの腕前です。実は約 3 年前、「できる日本語中級　第 9 課」を勉強したときに俳句に触れたのですが、その当時は新しい単語や文法を頭に入れるのが精一杯だったようで、あまり盛り上がりませんでした（私の力不足で俳句の良さを伝えられませんでした…）。そして、もう一つの大学三年生の作文クラスのほうはというと、やはり日本語学科の学生だけあって、俳句についても多少他の授業で習っていました。でも、俳句を楽しむことまではなかったようです。

俳句のプリントを配り、「これ、誰が書いたと思いますか」の質問からスタートすると、ある学生が「イーストウエスト日本語学校・・・日本の学生？」と気づきました。そこですかさず、「みんなと同じように、日本語を勉強している人たちです。今年の 10 月から勉強している人も参加したそうですよ」というと、「えええええええ！」と大歓声が上がりました。当然そうなりますよね。五・七・五で風景や気持ちを表すことができているんですから。

俳句の基本ルールを復習し、植物についてはインターネットの写真を見せて理解してもらいました。その後、小グループに分かれて、学生たちは Google 翻訳やスマホの辞書アプリと格闘しながら、自分たちで読み進めました。熱心に読んでいる姿を見て、私から「この中の二人は、どういう関係？」とか「ここにある“落ち葉”って、何色だろう」とか質問をしたり、「破蓮」は私も知らない季語でしたので（俳句は（も）不勉強で…）、学生たちと一緒に「たぶん、こういうことじゃない？」と、俳句の世界をあーでもないこーでもないと想像し

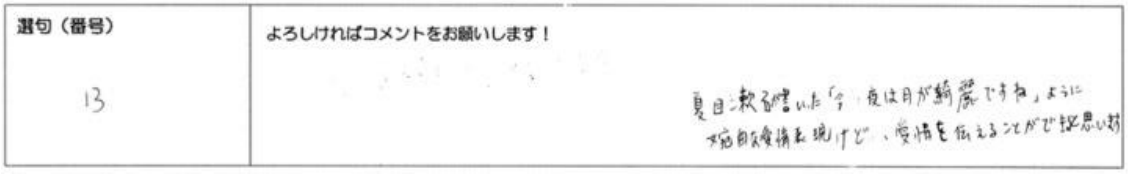
合いました。文字通りにしか捉えることができない学生たちにとって、俳句を読む活動を通して、表現の豊かさや文字の間に隠れる風景や気持ちを読み取るいい機会となりました。このような体験は教科書を読んだりニュースの記事を読んだりするだけではなかなかできませんし、書き手の心を汲み取ろうとする姿は、「勉強」という枠を超えた学習だったのではないかと思います。また、私は、「教えない授業」、「問い」から広がる授業に一歩進めたのではないかと思っています。

私はこの俳句を読んでいる時間も感動しきりだったのですが、さらなる感動が押し寄せたのは、学生たちが書いたコメントを読んだ時でした。ある学生は、花言葉を調べ、そこから俳句の世界を深く知ろうとしていました。ある学生はイーストウエスト日本語学校の学生さんと同じように故郷の家族を思い、またある学生は唐詩と同じ風景だと気づいたり、五・七・五の究極のミニマルな世界がこんなにも大きな世界を作り出すのかと感動しました。

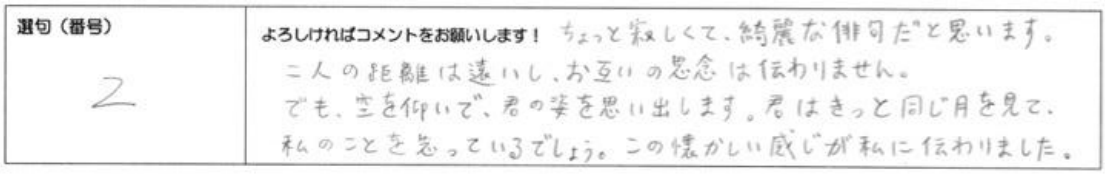
今回、俳句の世界を通じて、「ことば」の学習とは何かということを改めて考えさせられました。そして、日本語が共通語となって繋がる機会を得たことに非常に感謝しています。今度は「俳句作り」に学生たちとチャレンジしたいと思います。そのときはぜひ、世界中からコメントをお寄せいただければ幸いです。

（淡江大学日本語文学科　作文クラスのみなさんです。おとなしいのですが、作文の内容が個性的で、いつも読むのが楽しみです！）

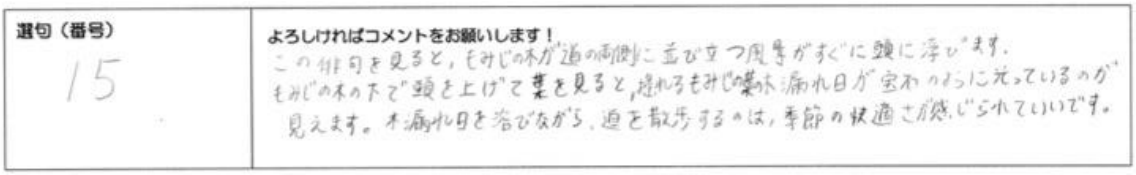
学生のコメントを紹介します



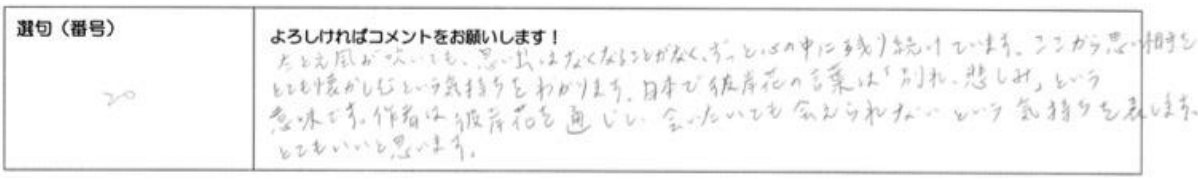
13　夏目漱石が書いた「今夜は月がきれいですね」ように婉曲な愛情表現けど、愛情を伝えることができると思います。



2　ちょっと寂しくて、綺麗な俳句だと思います。二人の距離は遠いし、お互いの思念は伝わりません。でも、窓を仰いで、君の姿を思い出します。君はきっと同じ月をみて、私のことを思っているでしょう。この懐かしい感じが私に伝わりました。



15　この俳句を見ると、もみじの木が道の両側に並び立つ風景がすぐに頭に浮びます。もみじの木下で頭を上げて葉を見ると、揺れるもみじの葉の木漏れ日が宝石のように光っているのが見えます。木漏れ日を浴びながら、道を散歩するのは、季節の快適さが感じられていいです。



20　たとえ風が吹いても、思い出はなくなることがなく、ずっと心の中に残り続けています。ここから思い相手をとても懐かしむという気持ちをわかります。日本で彼岸花の言葉は「別れ、悲しみ」という意味です。作者は彼岸花を通じて、会いたいても会えられないという気持ちを表します。とてもいいと思います。

選句（番号）	よろしければコメントをお願いします！
18	私は転校生なので、ひとりで淡水で勉強します。私の故郷は高雄ですが、久々に家に帰えれます。台北にいるときは本当に寂しいです。ですから18番は自分の気持ちを表していると思います。空の月を見るたびに、家族の顔がすぐ頭に浮びます。

18　私は転校生なので、ひとりで淡水で勉強します。私の故郷は高雄ですが、久々に家に帰えれます。台北にいるときは本当に寂しいです。ですから18番は自分の気持ちを表していると思います。空の月を見るたびに、家族の顔がすぐ頭に浮びます。